児童館・子育て支援センターで遊ぼう!

詳しくはこちら▶

問合せ こども未来課（TEL23-7622）

■12月の広場・講座

施設名	内容	日時
城北子育て支援センター（TEL23-0355）	ちびっこ広場「クリスマスだよ♪」	9日㈬10:30～11:00
	リコーダーアンサンブル演奏会	16日㈬10:30～11:00
	ミニミニ広場	23日㈬10:30～10:45
作手子育て支援センター（TEL38-1351）	今月のチャレンジ「音楽を楽しもう・作って飾ろう」	月～金10:00～11:00
	ころころ広場「うた・楽器・ダンスで遊ぼう!ツリーも飾るよ」	8日㈫10:00～10:30
	ころころ広場「みんなでメリークリスマス!」	22日㈫10:00～10:30
長篠子育て支援センター児童館たんぽぽ（TEL32-3221）	たんぽぽ広場「絵本読み聞かせ、手遊び」	月～金11:00～11:30
	オカリナ・ミニクリスマスコンサート ～やさしい音色につつまれて～	8日㈫10:30～
	読み聞かせ・親子あそび・防災のおはなし	16日㈬10:00～
	やさしいピラティス　※要予約・定員10組	23日㈬10:30～
鳥原児童館（TEL23-7001）	パピークラブ「親子で表現あそび」	10日㈭10:30～11:00
	すくすくクラブ「クリスマス会」	24日㈭10:30～11:30

12月 緊急当番医

ホームページID 165170741

診療受付時間

土曜日▶17:00～20:30
専門科▶19:00～22:30
※日曜日は9:30～16:00

診療日

1日㈫さくら眼科（上平井）22-4100

5日㈯茶臼山厚生病院（富沢）22-2266

6日㈰皮フ科新栄クリニック（平井）24-6022

9日㈬春日眼科（杉山）24-3222

13日㈰さくら眼科（上平井）22-4100

15日㈫皮フ科新栄クリニック（平井）24-6022

19日㈯星野病院（大野）32-1515

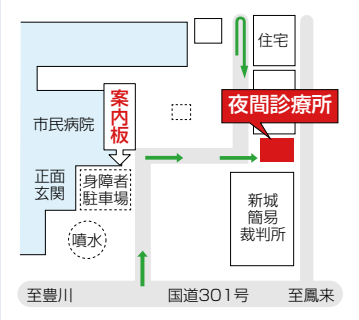
電話で症状を連絡の上、**「マイナ保険証など・各種受給者証・お薬手帳」**を持参してご来院ください。医師の都合により、変更することがあります。

夜間診療所

ホームページID 744449602

電話で症状を連絡の上、ご来院ください。

受付▶毎日19:30～22:30
科目▶内科、小児科
場所▶夜間診療所（字北畑54-1）
電話▶24-1161

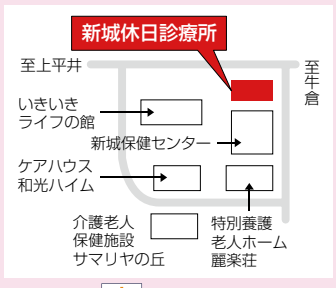


休日診療所

ホームページID 728708613

9:00以降に電話で症状を連絡の上、ご来院ください。

診療日▶日曜、祝日、8月15日、12月30日～1月3日
受　付▶医科　9:30～11:30
13:00～16:00
歯科　9:00～11:30
場　所▶休日診療所（矢部字上ノ川1-8）
電　話▶23-3665





ホームページID 751376216（ほのか診察室） 問合せ 市民病院（代表）（TEL 22-2171）

災害医療について③
～さまざまな医療チームと地域の備え～

監修 市民病院 DMAT（災害派遣医療チーム）

災害発生時には、さまざまな災害医療チームが協力して災害医療活動に従事します。時間の経過とともに変わる医療のニーズに合わせて、さまざまな専門チームがバトンを繋ぐように活動します。



■主な医療チームの紹介

災害時に活動する主な医療チームには、日本赤十字社が常備編成する救護班、厚生労働省が派遣するDMAT（ディーマット）、DPAT（ディーパット）やDHEAT（ディーヒート）、日本医師会が派遣するJMAT（ジェイマット）、日本看護協会が派遣する災害支援ナースなどがあります。

これらのチームは、ばらばらに活動するのではなく、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）などで共有される被害状況や医療ニーズをもとに、活動時期や役割を分担しながら、被災者の「命を守る」段階から「生活を支える」段階まで、得意分野を生かし、切れ目なく被災地を支えます。

チーム名	DMAT（災害派遣医療チーム）	JMAT（日本医師会 災害医療チーム）	DPAT（災害派遣 精神医療チーム）	DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）	災害支援ナース	救護班（日本赤十字救護班）
構成	医師・看護師・業務調整員	医師・看護師・事務職員	精神科医・看護師・業務調整員	医師・保健師・管理栄養士など	看護師	医師・看護師・主事（管理要員）
派遣元	厚生労働省	日本医師会	厚生労働省	厚生労働省	日本看護協会	日本赤十字社
活動場所	被災地の災害対策本部・医療機関・避難所など	被災地の医療機関・避難所など	被災地の医療機関・避難所など	被災地の災害対策本部や保健所	医療機関、福祉施設、避難所など	医療機関・避難所・救護所など
活動内容	情報収集・支援調整病院支援・患者搬送・物資輸送	避難所や救護所での診療支援、被災した地元医療機関の支援	被災者のこころのケア、被災地の精神科病院支援	避難所の衛生管理や感染症対策	被災した医療機関、福祉施設、避難所などでの看護	被災した病院支援救護所、避難所での診療など

■主なチームの活動時期

DMAT 発災後、約48時間以内に被災地へ入り、超急性期から急性期に活動します。

JMAT 急性期から亜急性期を中心に避難所や救護所での診療に当たります。

DPAT 発災後、約48時間以内に活動を開始し、慢性期まで長期間にわたって、こころのケアを続けます。

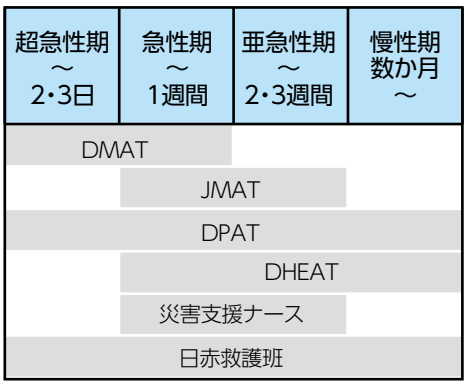
DHEAT 急性期から慢性期にかけて保健所などの指揮調整を支えます。

災害支援ナース 急性期から亜急性期を中心に、被災した病院や福祉施設、避難所などで看護を行います。

日本赤十字救護班 発災直後から出動し、慢性期まで長期間にわたり、地域の医療が回復するまで活動します。



※活動時期や内容は、災害の種類や規模、被災地によって異なります。



■災害に対する備え

災害時には医療機関だけでなく地域の皆さんの協力も重要です。皆さん一人一人が平時から備えることは、災害時のスムーズな医療提供、そして「助かる命」を増やすことに繋がります。

①水・食料・常備薬を最低3日間分、できれば1週間分備蓄しましょう。
②お薬手帳（コピー可）を非常持ち出し袋に入れておきましょう。
③避難所と避難経路を家族で確認しておきましょう。
④地域の防災訓練に参加しましょう。



地域に火を灯すオトコ達の物語
～地域おこし協力隊～



問合せ　産業政策課（℡23-7634）

「地域の若手でまちを変える!?」まずは小さく試す会、発足

「若者に新城の魅力をどう伝えるべきか？」そのような思いを胸に、高校生をはじめとする地域の若者が集まり、地域の活性化を考えるワークショップが始まりました。

私たちは行政が用意した枠に当てはめるのではなく、「まずは自分たちで小さく試してみる」ようにしています。第1回のキックオフミーティングでアイデアを出し合った結果、まずは新城のまちを歩いて季節の風景を切り取る「写真散歩ツアー」を始めることが決定しました。

編み物カフェや悩み事カフェなど、好きな事や趣味をきっかけに人が集まり、自然と多世代間のつながりが生まれる場所へ、新城のまちなかを変えていきませんか。小さな「やってみたい」から、このまちの新しい物語を一緒に始めましょう！

（今井真央）



仕事は日常、仕事探しは非日常

日々のお仕事の相談に乗る中で、ふと思うことがあります。

初めての就職や転職、起業。人生における数少ない「仕事選び」の機会には、見えない未来への不安でいっぱいになりますよね。だからこそ、ここでちょっと見方を変えてみてほしいのです。

働き始めると仕事は「日常」になります。一方、これからの未来を自由に描ける仕事探しは、本来、ワクワクするような「非日常」のはずです。自分の意思でどのような未来にも変えられる、貴重な機会なのです！

新城には、まだ知られていない魅力的な企業や素敵な方がたくさん揃っています。そんな存在に出会えるワクワクした機会を、これから次々と創出していきます。楽しみにしていてください！

（山本颯太）

再発見！わがまちの文化財・施設紹介

鳳来寺硯

問合せ　鳳来寺山自然科学博物館（℡35-1001）

鳳来寺硯は、鳳来寺山麓で産出する石材を用いて作られる硯です。その歴史は古く、鳳来寺を開山した約1300年前に始まったと伝えられています。

鳳来寺表参道に石硯工房「鳳鳴堂」を構える名倉利幸（五代名倉鳳山）氏は、地元で産出する天然石材の材質や模様に即した一品制作に取り組んでいます。これらの石硯は、伝統的な制作技術を基に意匠に工夫が加えられ、高い鑑賞性と芸術的価値が付与されています。このような理由から、令和7年8月5日、鳳来寺硯を含む「石硯」は、愛知県指定無形文化財（工芸技術）に指定され、名倉氏はその保持者として認定されました。

鳳来寺山自然科学博物館で開催中の特別展「心の器-鳳来寺硯」では、名倉氏作の鳳来寺硯7点を展示しています。



雅陵硯「赤舟」

名古屋大学と市は、医療、健康、ライフスタイルの包括連携協定により協働しています

奥三河ミライバレープロジェクト vol 42

文責／名古屋大学
大学院医学系研究科
人間拡張・手の外科学
教　授
山本美知郎（やまもと　みちろう）

問合せ　政策企画課（℡23-7620）

未来の自分のために、今からできること ―プレコンセプションケア―

こども家庭庁ホームページ▶

「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか?

「プレコンセプションケア」とは、性別を問わず若いうちから自分のからだや健康について正しい知識を持ち、将来の人生を見据えて健康管理を行うことです。自分らしい未来を選択するためには、まず自分のからだを大切にすることが出発点となります。

特別なことをする必要はなく、バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠、禁煙や適度な飲酒など、日々の生活習慣を見直すこともプレコンセプションケアです。また、月経や性感染症、妊娠・避妊について正しく知り、自分やパートナーの健康について考えることも大切です。今の生活や健康状態は、将来の自分の健康につながるだけでなく、男女問わず妊娠や次の世代の健康にも関係します。



こども家庭庁は「プレコンセプションケア推進5か年計画」を策定し、若い世代の認知度を5年後には80%にすることを目指して取り組んでいます。新城市も、しんしろ助産所を中心に、認知度向上に向けて活動を進めています。

まずは今日から、自分のからだとこれからの人生について考えてみませんか。

新城図書館だより

12月の休館日　21日(月)、28日(月)～31日(木)
開館時間　9:00～20:00

新城図書館ホームページ▶

問合せ　新城図書館（TEL.23-2333 FAX.24-3415）

〈今月のチュウモク本〉

児童書

あした話したくなる ひみつの必勝法 勉強スポーツ遊びで勝つ」

朝日新聞出版／編著

背ラベル　03ｱ26



じゃんけんやゲームなど、日頃、勝ちたいと思うようなことから、記憶や睡眠など、身近な生活のコツまで、広く必勝法を教えてくれます。きっと、心強い味方になってくれる一冊です。

児童向けの新しい本を紹介します。

「知ると楽しい!お米のひみつ」
東京農業大学総合研究所／監修　61ｼ26

「魔法の庭の子ねこたち チコとひみつのへや」
あんびる やすこ／作・絵　91ﾏ26

「ようかい宿題代行サービス 1 一つ目こぞうと漢字ドリル」
麦野 圭（むぎの　けい）／作　91ﾑ26



～年末年始特別貸出のお知らせ～

年末年始の休館にともない、
12月13日(日)～27日(日)の期間、
1人**15冊・3週間**の特別貸出を行います。
図書館が休館・閉館中の場合、本の返却はブックポストをご利用ください。図書館・各総合支所の3か所にあります。



年末年始の休館日は、12ページをご覧ください。



Mayor Column vol 15

市長コラム

資源循環のまちづくり

本市のごみ処理には、年間約10億円の予算を要しています。施設の維持・更新も含め、コスト削減は容易ではありませんが、ごみ処理は暮らしを支える不可欠な行政サービスです。

市では持続可能な未来に向け、循環経済（サーキュラーエコノミー）を推進しています。令和7年度から民間企業と連携して始めたリユース品のイベント回収では、これまでに約4.5トンもの資源が集まりました。

次回は11月29日㈯に新城市クリーンセンターで開催します。持ち込める品目など、詳しくは市ホームページでも確認できますが、生活環境課へお気軽にお問い合わせください。ご不要になったものを「次の方へつなぐ」取り組みです。

ごみの減量と資源循環には、市民・行政・企業の連携が欠かせません。一人一人の一歩が大きな未来をつくります。ご協力をよろしくお願いいたします。

リユースの広場

問合せ 生活環境課(TEL23-7629)

ホームページID 974249512

譲りたいもの

・キダチアロエ（鉢植）
・モンステラ（鉢植・観葉植物）
・食卓用回転いす
・木製机　・着物（手芸用）

譲ってほしいもの

・中学生用自転車（黒）
・セーラー服（鳳来中学校）
・ポロシャツ（鳳来中学校）
・半ズボン（鳳来中学校）
・冬用体操服上下（鳳来中学校）
・女子赤白帽子（鳳来中学校）
・緑色シューズ袋（鳳来中学校）
・サブバッグ（鳳来中学校）

掲載申請はこちら▶
（電話、メールでも受付可）
※譲りたいもの・譲ってほしいもの無償提供に限ります。

考えよう！ vol 32

ごみの減量

問合せ 生活環境課(TEL23-7629)

年末年始をすっきり迎える！ごみ減量＆上手な分別ガイド

クリスマスや忘年会、お正月など、イベントが続くこの季節。楽しいひと時の裏で、家庭から出るごみの量はグッと増えます。環境にやさしく、気持ち良く新年を迎えるために、ごみの減量と正しい分別を心掛けましょう。

イベント・パーティーでのごみを減らそう！

◆購入の際は過剰包装を避け、**マイバック**を持参しましょう。
◆料理は作りすぎず、**食材は計画的に購入**して食品ロスを削減しましょう。
◆生ごみは**しっかり水切り**しましょう。
◆プレゼントの包装紙はきれいにはがして**「紙」の資源**へ、ダンボールはテープをはがし平らに潰して**資源**へ出しましょう。

大掃除の片付け

◆捨てる前に**リユース**を検討しましょう。
◆まだ使える物は地域情報サイト**ジモティーやリユースの広場**を活用しましょう。
◆衣類・布類・カレンダー・封筒などは**資源**へ出しましょう。

危険物は絶対に混ぜないで！

◆スプレー缶・カセットボンベ・ライターなどは中身を使い切り、**資源**へ出してください。混ぜると火災事故につながり大変危険です。

「混ぜればごみ、分ければ資源」

片付けの第一歩は「捨てる」ではなく**「分ける・譲る」**です。古紙や古着を資源に出すだけで、可燃ごみはグッと減ります。

家の中をすっきりさせて、環境にもやさしい年末年始を過ごしましょう！

新城市更生保護だより
ぬくもり

第26話

保護司会・更生保護女性会
令和8年度「社会を明るくする運動」

問合せ 福祉課（℡23-7624）

ありがとうハットと交通安全ハットを贈呈

「社会を明るくする運動」の啓発活動として、市内のこども園に「ありがとうハット」を、新城警察署に「交通安全ハット」を毎年贈呈しています。

園児には「ありがとう」と言える子に、そして言ってもらえる優しい子に育ってほしいと願いを込めています。同時に「ありがとう」の意義を、園児たちに伝えるために、「ありがとうハットのお話」の紙芝居を上演しています。




ありがとうハット








交通安全ハット



「交通安全ハット」は、交通安全県民運動の啓発活動として、新城警察署に贈呈し、その後、グリーンファームしんしろで配布しました。

これらのハットは、更生保護女性会の手作りです。

新城更生保護女性会理事研修会

更女理事会では「新城市を知ろう」を目的に、年二回、各地区で研修会を行っています。

昨年度は東郷地区・新城地区、今年度は六月に、講師として高田孝典（たかのり）氏をお招きして、舟着地区で行いました。

コース

・吉川地区　奇襲隊松山峠越え入口→豊田藤助屋敷跡
・塩沢地区　木喰上人作「木造十一面観音立像」見学
・市川地区　鳶が巣砦への道順確認→木喰上人作「木造子安観音立像」見学、ヘリポート見学

山林の多い舟着地区を見学し、「初めて来ました。歴史について学ぶ事が多くあり、有意義でした。」という声が聞かれました。



しみんのトビラ

JRバス関東 職場体験会

バスやバス機器に実際に触れて、運転士の仕事を体験できます。(出発点呼、車両点検、乗車体験など)

日時▶12月6日(日)10:00～13:00
場所▶JRバス関東新城ベース(八束穂146-8)
対象▶小中学生・高校生・その保護者
参加費▶無料
申込▶12月5日㈯までに申込フォームから申込み
問合せ▶JRバス関東新城ベース
(℡0536-25-1700) 10:00～17:00

▲申込フォーム

新城吹奏楽団 第103回定期演奏会

2026年が記念の年に当たる作曲家(モーツァルトやリスト)の曲などを演奏します。ぜひご来場ください。

日時▶12月13日㈰14:00開演(13:30開場)
場所▶新城文化会館 大ホール
曲目▶クラリネット協奏曲(W.A.モーツァルト)、ハンガリー狂詩曲(F.リスト)など
入場料▶1,000円
(前売券:小中高500円、一般800円)
その他▶前売り入場券は新城文化会館・ピアゴ新城店などで取り扱っています。
問合せ▶新城吹奏楽団
入山(℡080-1565-3534)



空き家空き地相続・処分相談室(秘密厳守)

空き家などでお悩みの方に向けた相談室を開催します。

日時▶12月20日㈰10:30～18:00
場所▶西部公民館(ちさと館)相談室
(杉山字道目記24)
対象▶空き家でお悩みの方、今後に備えたい方など
申込▶12月19日㈯までに電話で申込み
問合せ▶NPO愛岐空き家空き地再生サポート協会
(℡080-2642-5561)

今月のレシピ

肉巻き大根と青菜の煮物



●材料(4人分)

大根	1/2本(約500g)
青菜	2株(約300g)
豚薄切り肉	約12枚
片栗粉	適量
サラダ油	大さじ1
A:酒	大さじ2
水	300cc
砂糖	小さじ2
生姜の薄切り	1片
B:オイスターソース	大さじ4
しょうゆ	大さじ1

●作り方

1. 大根は皮をむき5cmくらいの輪切りにし、縦十字の4分割にする。青菜は葉と軸に分け、軸部分は大きければ分割し、それぞれ電子レンジでしんなりするまで加熱する。
2. 豚肉を広げて片栗粉をまぶす。その上に大根を1片ずつ置き、しっかり巻いてギュッと握る。
3. フライパンにサラダ油を熱し、②の豚肉の巻き終わりを下にして焼く。1～2分は動かさずに焼き、次に全体に焼き色が付くまで転がしながら焼く。
4. ③にAを加えて煮立ったら、ふたをして5分ほど煮る。その後Bを加えて軽く混ぜ、再び5分ほど煮る。最後に青菜を入れ、さらに5分ほど煮上げる。
5. 肉巻き大根と青菜を取り出して器に盛る。残った煮汁は照りが出るくらいまで煮詰め、肉巻き大根と青菜の上にかける。

Town Topics
まちの話題

東三河中学校駅伝大会

10月17日㈯



東三河中学校駅伝大会が、10月17日㈯に新城総合公園で開催されました。鳳来中学校(男子)は1区で好位置につけると、2区が区間賞の走りでトップに浮上し、3区以降も後続との差を保ち続け、見事優勝を果たしました。また、鳳来中学校(男子・女子)、東郷中学校(男子)が県大会に進出しました。

PTA教育講演会

10月20日㈫



千郷中学校のPTA教育講演会で、マヂカルラブリーの村上さん、おばけのおふたりをゲストに迎え、夢やお笑いについて語ってもらいました。また、村上さんが千郷中学校の生徒と一緒にコンビを組んで漫才を披露し、お笑いのパフォーマンスに、会場は大きな盛り上がりを見せました。

地方創生Award2026受賞報告会

10月23日㈮



市内の福祉法人が中心となり、黄柳野高校や地域おこし協力隊と共に取り組む「新城キャリア教育プログラム」が、地方創生Award2026「専門人材育成部門」で本市として初受賞したことを報告しました。個社単位ではなく、福祉分野の複数企業による人材確保・育成に向けた産官学連携の取り組みが評価されました。

旧田口線写真展

10月31日㈯、11月1日㈰



学童農園山びこの丘伝承館で、旧田口線の懐かしい写真や思い出の鉄道グッズが並ぶ「甦る思い出の田口線」が開催されました。来場者は当時の様子を伝える写真やグッズから、昔の姿に思いを馳せていました。